

キンスポ

2輪専用サーキット
近畿スポーツランド
情報発信紙
夏号(第7号)
Tel(0774)88-3633
<http://www.knspocm>



2016 KSLガール
綾瀬奈々(左)
村上マリエ(右)
皆さんよろしく
お願いします
〈m()m〉

J+RIP杯 近畿スポーツランドロードレースシリーズ2016

強風の中、全15クラス152台で大いに盛り上がり無事終了！

12年目の今シーズン大会名称を近畿スポーツランドロードレースシリーズに変更され開幕。当日は朝から雨模様でフリー走行、予選とウエットコンディションだったが、お昼に近づくにつれ、徐々に天候は回復し、決勝はドライコンディションに……しかし午後は強風が吹き荒れ、ライダーを翻弄することに。今回はレーシングスタンドメーカーのJ+RIP杯として開催され、抽選会では沢山のJ+RIP製のレーシングスタンドを商品として提供していただき、場内は喜びの声にあふれた。レースは難しいコンディションに各ライダータイヤやチャイプスやセッティングに悩ませながらも、決勝はドライならぬのは迫力の好レースの連続で、中でも、今回特別開催のF4STでは日本各地から最高峰クラスの選手が集結し、超ハイレベルなレースが展開され、長谷部選手が勝利した。そしてNSF100HRCトロフィーでは、若手11歳の奇才まおと佐藤まおが完全スイッチオンの走りを見せ優勝！CBRドリームカブでは常勝の佐野兄弟のワンツーカーと思われたが、古高が割つて入り、見事に2位というサブライズフイニッシュに沸いた。そして最終レースのハイエンドクラスMGPでは、奇才まおとトロフィーの勢いそのままにトップに躍り出るも痛恨の転倒を喫し、やはりキンスポ最強番長UNOPが開幕戦を制した。2位にクリスタルけいちゃん、3位にジュニアライダーの鈴木が見事初表彰台に上り、成長を結果で残した。次回第2戦 小西記念杯は真夏灼熱の8月7日(日曜日)に開催される。(レポートは6面)



開幕戦はエントリー数 152 台もの多くのエントリーで賑わう



最終M-GPはやはり番長UNOP！連勝記録を伸ばす



J+RIPの森社長の挨拶で開幕戦がスタート！

待望！この言葉が今の心境か？NSF100もデビューから早10年が過ぎ、新たにHRCよりグロムレーシングコンプリートモデルの発売が開始された。保安部品を取り除き、レース専用設計されたECU、シフター、ピットレインスイッチ、レース用ステップ類そして各シヨップが開発するオリジナルサイレンサーを装備した本格レーシングコンプリートモデルとなった。価格も36万円台と非常に手ごろで、今後ライトバイクレースの定番的モデルとなることは間違いない。さて、実際の戦闘力だが、キンスポでは未だ持ち込んだライダーは少ないが、異口同音に速い！という印象！やはりレース専用ECUの効果が絶大で、横型エンジンながら125ccの持つ性能を最大限に引き出しているようだ。そんなところ、NSFやエプ、NSRなどの他のモデルとの混走レースのレギュレーションの整合性を保つのも一苦労かもしれない。8月7日開催の第2戦のHRCグロムカブでその戦闘力が証明される意味でも大注目である。

GROM Cup



トビックス！
ホンダグロムレーシングコンプリートモデルがついにデビュー！
同時にキンスポでもHRCグロムカブが8月7日の第2戦より開催！



BOSCO MOTO レンタルギア
レーシングスーツ・ブーツ・グローブの貸し出しスタート！



ベール・ロック・アレンネスブランドの購入を検討されている方で実際の着心地を試したい方初心者の方やレースを始めたいけど未だ購入されてない方・一度サーキット走行を体験したい方、ツナギを修理中の方、ツナギを忘れた方、エンジン系レースに参加したい方、体験走行企画の参加者の方やツーリングイベントやレース体験イベントの参加者等々……お気軽にご利用下さい。詳しくはHPを！ご予約・お申込みは お電話で！ 0774-88-3633

●特集！

キンスポ初！※ナイトランあり！！ 働くバイク8時間耐久レース開催！

去る、6月の最終日曜日の26日は、ついでにプロジェ
クトさん主催のルーツ原チャリ26周年「プロ企画
働くバイク8時間」だよ全員集合が開催された。

近畿スポーツランドの歴史上8耐は今回がなんと初めて、以
前20年前に全国放送のテレビ番組として、3輪車の8耐は開
催されたことがあるものの、モーターバイクとしてはこれがな
んと初めてとなる。やはり運営の問題や安全上の問題など
8時間という長丁場の耐久は、これまでキンスポでは安易に開
催することは控えてきたが、主催歴30年の老舗であるはつひ
いんどプロジェクトさんなら運営可能と判断し、今回の大会
開催の運びとなった。

エントリー可能台数は35チームの募集が数日で満員御礼
というすごい人気で、やはり日本人は8が大好きなのか？

梅雨のさなかに、いよいよキンスポ初のロング耐久、働くバ
イクの長い戦いが始まった。前日の昼夜から各参加者がキ
ンスポ入りし、ピットやテント設置そしてプチ宴会など多くの
参加者で朝から超満員となり、徐々にキンスポは熱気を帯び
始めた。

そしていよいよ当日 6月の末にしては少し肌寒い朝を迎
え、ライダーズミーティングへとスケジュールは進んでいた。
ここで、8耐といえばこの方！ シンガーソングライダーの左
寄啓史(サザキヒロシ)さんがおなじみのシャドウファントムで
登場し、参加者の皆さんの応援に駆け付けた。

フリー走行、そしてランコン走行会と続き、午後12時20
分8時間の長い戦いの火蓋が切つて落とされた！ 総勢36チ
ームの激闘が繰り広げられ、1時間、2時間と時間が過ぎゆく中、
給油やライダー交代で続々とピットインそしてまた仲間が旅
立ってゆく...チーム仲間と力を合わせて力走する各ライダー
たち、そんな中 転倒やトラブルに見舞われるチームも出始
め、まさにピットは戦場となる。しかし、チーム一丸となつてト
ラブルを克服し、再びコースへ仲間を送り出す姿に各所で歓声
や拍手が巻き起こる。



全36チーム 総勢160名超のライダーがいよいよ8耐の長丁場に挑む！



シンガーソングライダーの左寄啓史(サザキヒロシ)さんがスタートを控えた選手に歌で激励！



主催のはつひいんどプロジェクトの森田代表 ライダーズミーティングで参加者全員無事に家に帰ってほしいとミーティングにも熱がこもる



満員御礼 36チームが未体験の8時間に挑む 第一ライダーも緊張気味



本家鈴鹿8耐を控える古澤幸也も電動バイクで参戦



長い、長い戦い・・・耐久性、ライダーの技量 チーム力全てが試される



記念すべきスタートフラッグは左寄さん！

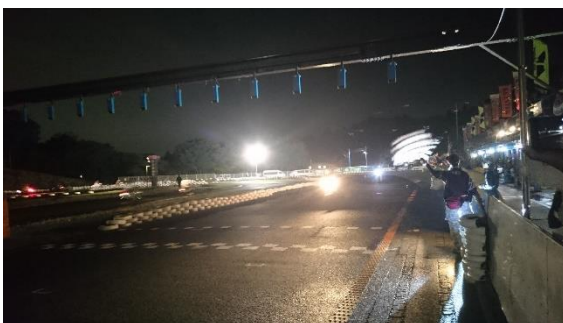
3時間、4時間5時間と時が進むにつれ、徐々に日が西に傾き始める。そしていよいよ未体験のナイトタイムに突入する。27年の歴史の中で初めての夜間走行は、正しく幻想的風景に包まれた。戦つ各車両の光が、夕闇の涼しい風と共に、疲れた体を癒しながらも、未だ続く戦いの緊張感と重なり、何とも言えない雰囲気を出す。そう！そんな情景がシンプルな表現だが、とてもきれいでわけもなく涙を誘うのだ。そしていよいよ残り1時間！各チーム最後のライダーを送り出す様子があちらこちらでみられ、午後8時20分感動のチェッカーが振られた。演出のシャボン玉が飛び交い、その泡がライトの光に反射し、何とも言えない素晴らしい景色の中、盛大の拍手に包まれ、なんと全車完走という素晴らしい結果で史上初の8耐が終わった。感動に目頭が潤むもの、やり遂げた満足感に浸る物、仲間と健闘を称えあい喜び合うもの・・・本格的な夏を迎える天空のサーキットで、遅くまで歓声や歓喜の声、そして拍手がこだました。パレードランでは火花が焚かれ、疲れたライダーやチーム員、ここにいてすべての人の心をいやした。そして表彰式には左寄さんのライブが開催され、健闘したすべての人に熱く癒しの歌が送られ場内は最高潮に達した。

参加されたすべてのライダーやチームの皆さん、そして8時間の長丁場を支えてくださったオフィシャルの皆さま。協力、協賛企業の皆さまそして、主催のはっぴいえんどプロジェクト様、本当にお疲れさまでした。また来年？ かどうかはわかりませんが、また天空でお会いしたいですね。

上位入賞チーム

湿式多板クラス 優勝 マノミR&DスポーツYB-1
無段変速クラス 優勝 モトヴィ&京美人

自動遠心クラス 優勝 国際・ヘロリスト マスカイタ
2位 JUNPAW&モーターヘッド
3位 フラッシュ★Fatt 京都



1 コーナー側特設ピットナイトランを控え慌ただしい



夜間の天空のサーキットの風景 とでもキレイだ



花火の中のパレードラン！ 幻想的な景色



表彰式では達成感にあふれたみんないい顔！！

不定期シリーズ (VOLUME 1)

このシリーズではキンスポでレース活動するそれぞれの人のレース感や人生、体験談をご紹介できればと思います。

竹下 基幸(たけした もとゆき)さん59歳

典子夫妻のエピソードをご紹介いたします。

このご家族がキンスポにいらしたのは何年前だろうか？たしか10年ほど前の2006年か7年か？10インチノーマルのモンキーを持ち込み、初心者ながら一生懸命練習に通われ、そのうち息子さんと一緒に耐久レースにも挑戦し、家族でenjoyされていたことを昨日のことのように思い出す。私が近畿スポーツランドR.T.を結成し、鈴鹿ミニモトに挑戦した時にはスタンドから撮った写真をくんだり、本当にうれしかったことをよく覚えている。ところが、ある日を境に竹下さんご家族はパタリとキンスポに来られることが無くなった。最近いらしやらないな、おやめになったのかなあ、なんて思っていた矢先にキンスポに一通の封書が届いた。その中身はライセンス更新料と竹下さんからの手紙：体調を崩したので行くことはできないが、ライセンスを更新していただけないかという内容の手紙が丁寧につづられていた。普通ライセンスが切れても再入会すればいいことなのに：わたしは何か胸締め付けられる思いがこみ上げたことを覚えていた。

2016年4月に突然、竹下さんがご無沙汰してま

す！と事務所に訪れて、今日は練習走行にきま

自分に落ち込み、ふさぎ込む日々が続いた。仕事は何とかが復帰することはできたが、バイクに乗ることはやはり難しい...

それでも何度かレース観戦するうちにもう一度グリットに立ちたい思いは消えなかった。

中々消そうとしても：消えない！

奥様もご主人を支えながらも、もう家族でレースを楽しむこともできないのかな？とおもっていた。そう

も、レースは無理かなとあきらめるものの行くこ

ともできないのにキンスポのライセンスを更新するこ

と2回、それが何か心の支えになっていたのだと思

と語った。キンスポには元気な人が多いので、もう一

度ここに戻ってきたい！その思いがそうさせたこのこ

と。そしてついに

今回5月1日のサテライトステージの1時間耐久に一

人で参加！普段は感じないが、やはりレースになる

と手術のあとが痛む！しかし見事に自分との闘いに

打ち勝ち、最下位ながらも見事に完走！

奥様は感極まり目から涙があふれる。

いくつになっても、何秒で走っても生涯レースを続け

しんていきたいと笑顔で語った。

次はキンスポシリーズのルーキークラスにエントリー

したいと抱負を語ってくれた。

再び走れることの喜びに満ち溢れ、新緑の天空にさわ

やかな幸せの風が吹き抜けた。



竹下夫妻 (5月1日サテライトステージ)
2年ぶりのキンスポ！2年ぶりのレース
再び天空に訪れたお二人に強い家族、夫婦
の絆を強く感じた。

※写真提供 はっぴいえんどプロジェクト様<m(_)_m>



やはりレースとなると手術跡が痛む！
あと少し、あと少しで完走だと自分に言い聞かせなが
ら走る竹下さん。



耐久レーススタート直前！
再びこの場所に戻れたことがなによりうれしい！

J-TRIP杯 各クラスレポート

●ジェネレーショクラ

開催3年目となったオーバー40歳限定の制限タイム45秒までのジェネレーショクラ。このクラスの予選は無く、若造は後方グリッドになり人生の先輩は前方のグリッドを獲得でき、高年齢順にグリッドを決定する。午前中は他のクラスの予選がウェットのなか行われていたが、お昼休憩になる頃に太陽が出てき始め、急激に路面が乾きものの20分程でドライになった為タイヤ交換が間に合わずレインタイヤのままグリッドに付く方もいる状況のなかスタートが切られた。

全車綺麗なスタートで、オープングラブを取ったのは、ジェネレーショクラ3連勝中の渡辺だーその真後ろに初出場の河合、少し離れ松本、10番グリッドから大きくジャンプアップに成功したMボボ、吉川、小松と続く。ヒタリと渡辺をマークしていた河合だが1コーナーで痛恨のブレーキングミスで戦線を離脱してしまう。第2グループがア台の混戦模様。4周目の1コーナーで松本を刺し第2グループ先頭に山田が上がってきた！ なかなかペースの上がらない松本に、友田 吉川が襲い掛かるがパスするまでに至らない。

しかしファイナルLAPに勝負所である1コーナーで友田が根性のブレーキングでパッシングに成功で勝負あり！

1位で見事チエッガーを受けたのは、このクラス最年長者 渡辺 2位Mボボ 3位山田 4位友田となった。

優勝 渡辺博人

2位 Mボボ

3位 山田佳正

4位 友田利弘



●レディースクラ

今季から初開催となる女たちの熱き戦いレディースクラ (制限タイム45秒)。この近スポでは、比較的女性ライダーが普段の練習走行から多くの方(トイレ)が綺麗になったから、が利用して下さっている。女性の方のレースで盛りあがってもらえれば嬉しいと思い、新設されました。今回は4台のエントリーでジェネレーショクラと混走となりましたが、今後の参加台数が増えれば単独での開催も可能？です。是非とも女性ライダーの皆様の参加をお待ちしております！ 決勝グリッドは抽選となり、中本 北川 小野 榊原の順でのグリッドとなった。コースインが開始されたが、北川の姿が無い？スタッフが確認しに行くと、天候回復に伴いタイヤ交換の最中であつた。

ぎりぎりまで待ったが、優勝候補の北川はグリッドに付かず、無念のRTタイヤとなつてしまった。混走でのレディースクラ3台のレーススタート！ いいスタートを決めたのは榊原！ 一方、小野は緊張からミスをしてしまい大きく出遅れてしまふ。榊原はジェネレーショクラの男性陣に襲い掛かる活躍で、他を引き離し安全圏内へ。スタートは出遅れたものの、すぐさま中本に追いつき、小野と中本はテールツノスになり一触即発！ 運命のファイナルLAPまでもつれ、プログラインを通る中本だったが、小野はアウト側から豪快に中本をパスし、仁義なき戦いに決着がついた。終始安定した攻めの走りで見事レディースクラ初優勝は榊原となった！



優勝 榊原香織



●キッズクラ

小学生低学年の子供達を中心のホンダCRF50やススキDRZ50などのモトクロスベス車を使用したキッズクラ。レイン状態となつた午前中の予選は、pを獲得した長内 森田 鈴木 北氏の順のオーダーとなり、コンマ一秒以内に4台が混戦が予想される中、決勝のスタートが切られた！ いいスタートを魅せたのはpスタートの長内 森田 北氏。一方、3番グリッドの鈴木は大きく出遅れてしまった。スタートのミスを挽回すべく鈴木が北氏をパスし、先頭集団に猛チャージをかける。先頭を守る長内は、3周目の1コーナーで森田にパスされ2番手に後退。そして5周目にストレートエンドが多少有利なDRZの鈴木にもパスされてしまった。序盤にトップに立った森田は安定した走り、鈴木に最終LAPに詰り寄られるも逃げ切り、見事嬉しい近スポRR初優勝を飾った！ 2位に猛プッシュで追いつけた鈴木 3位長内 4位北氏となった。



優勝 森田考希



●バトルウォークス

異種格闘によるポイント制レース。レース順位のポイントに車両ハンドの係数(倍々2.23倍)をかけて総合ポイントにて順位を決定する新しい形のレースだ。今季ポイント改訂があり、車両ハンドポイントが大きく変わった。以前よりレースの順位と決勝リザルトが大きく変動することが予想されるので、大どんでん返しが十分に可能だ！ そんな中、OP車両からFN車両まで全6台で決勝の火蓋が切られた！ いいスタートを魅せたのは本年度からOP車両にステップアップをした田村がやはり他を圧倒的に引き離していく。M仕様の津田、F仕様の死神、三浦、M仕様の河野、FN仕様の永田と続く。2周目に入り、予選を走らなかつた河野が三浦をストレートでパス。その後の展開は各車の車両スピードが違つた為、等間隔に開き、そのままチエッガーとなった。車両ハンドの係数が計算され総合ポイントによる順位は、1位FP車両 死神、2位M車両 津田の決勝リザルトで発表された！



優勝 死神博士



2位 津田 徹



●ルーキークラ

若男女さまざまライダーが走行する、初心者向け制限タイム49秒のルーキークラ。今回は4台での決勝レースがスタートされる！ 近スポ初レースの吉田がPPから勢いよくスタート！ 3番グリッドの楠本のスタートも良く、1つポジションアップの2番手で1コーナーに進入するかと思われたが、小野が素晴らしいブレーキングで2番手を死守！ 4番手は最年長ライダー(御年64歳)の生田がキープ。

各ライダー一生懸命に走行し、大きな変動は無くTOPでチエッガーを受けたのは吉田だが、規定タイムを大きく上回り名譽の賞典外となった。しかし、初レースで見事な走りをしてきた吉田の今後が楽しみだ！

大物ルーキーの予感がする(笑) 吉田が賞典外となったことで、見事優勝に輝いたのは小野となつた！ 昨年、ルーキークラに参加していた多くのライダーが上のM3クラスにステップアップしたことで、少し寂しい台数となつてしまつたが、新たにレースを始めた方などにオスメのクラスとなつていたので、第2戦のご参加をお待ちしております！



優勝 小野睦子

●Motor4クラス

M系の4ストローク車両のみ参加することが出来るMotor4クラス。チャンピオンシップ該当クラスとなっているので、大事な初戦である。予選はレインを得意としているJライダー後藤田が見事ポールポジションを獲得した。2番手は以前STクラスを開催していた時に参戦して下が久しぶりの参戦で上位に入り、徳島のジュニア野村、前年チャンピオン田村と続く。全10台で決勝のシグナルが切られる。

いいスタートを魅せたのは下、野村。後藤田は集団に埋もれ5番手にポジションダウン。田村が3番手に上がり、続く4番手には今年から74NSFにステップアップをした鹿児島から参戦の彌樂がジャンプアップ！。ベテラン下、ジュニア野村、少し離れたベテラン田村、ジュニア彌樂のバトルが展開される。3周目ストレートスピードの利を生かし彌樂が田村をパス！しかしベテランの巧みな技で田村が2コーナーで彌樂のインに入り、ポジションキープする。トップ争いの2人はヒタリと野村が下をマークし、様子を伺っているようだ。ラスト4LAPのところで下を1コーナーのブレーキングで捕え、トップに浮上し、スパートをかける！しかし勝負をかけるのが早すぎた！。下も同じようにハースを上げ、野村を離さない！。

後半セクションが得意の下はタイミングを計り、クロスラインで綺麗に加速ラインを通り野村との差を詰め、迎えた運命のファイナルラップやはり直線のスピードは野村の方が速いが、そんなことは下にとっては織り込み済みである。1コーナーで野村の前に出ると、あとはベテランらしい走行で見事にトップでチェッカーを受けた。2位はベテランの上手さにやられたジュニア野村。3位、彌樂とのバトルを制したベテラン田村となった。



優勝 雄飛



2位 野村唯人



3位 田村嘉宏



●CBR250Rドリームカップ

年間ランキング上位者に鈴鹿サーキットで開催されるグラندチャンピオンシップへの出場権利をかけたレース。10代後半から20代前半の青年達の出場者が多く、代表のチケットを誰が手に入れるのか？いよいよスタートのシグナルが切られる！レインコンディションでも唯一4秒台に入れ、ポールポジションを獲得した佐野優人がホールシフトで1位をキープ。2番手は吉田、3番手に佐野勝人、4番手古高と続く。様々なレースを経験している佐野優人は、序盤からのペースが非常にいい。2周目に41秒6のタイムをたたき出し、後続との差をひろげていく。

3周目、2番手を走行していた吉田は逆バンクになっていた3コーナー立ち上がりで痛恨のスリッパダウン！戦線を離脱してしまう。直後に付いていた佐野勝人は転倒者を避ける為、少し加速を鈍らせた！。その隙を見逃さなかつた古高は佐野勝をパスし、2番手に浮上する。

トップを走る佐野優人には大きなアドバンテージになり、余裕を持ってレースコントロールが出来た状況となる。こうなると面白くなつたのは、さまざま古高に迫り、追いつき、バトルゾーンとなった2番手争い！。古高にヒタリと付け、バッキングポイントを探りながら走行をする佐野勝だが、思いのほか抜き過ぎる所までいかない。いや、むしろ古高のペースの方がいい。実力的には兄と共に佐野勝もロードレースに参戦しているライダーで古高よりも経験がある。しかし、レース中に実力を開花したのか？古高はファーストストラップを叩きながら後続を引き離し、トップに迫る勢いで走行している。だからレースは何があるか分からないから面白い！結果そのままでの順位でチェッカーとなり、1位は序盤のアドバンテージを有効に活かした佐野優人が見事優勝。2位はレース中に実力を開花した古高となった。



優勝 佐野優人



●FP41STクラス

特別開催クラスFP41STクラス。今回は日本各地からのクラスを代表する13人のライダーが集まり非常に場内の注目を集めた。13台の猛者が一斉にスタート！素晴らしいスタートダッシュを決めたのは予選5番手の長谷部がホールシフトを奪う！。以下ボールの島村、魔王、酒井の順で1周目を終えるが、2周目2コーナーで群馬の酒井が転倒してしまい大きく順位をいとしてしまつ。遅れをとつた地元大西勢の民

谷、死神だが2周目には4番手、5番手につける。逃げる地元関西の長谷部を関東の島村が必死に追いつける。まさに東西対決の様相を呈してきた。3番手争いは民谷と魔王の天然素材とつしの戦いもし烈を極める。少し離れて死神が単独5番手の展開。日本スクーター界のトップが上位を占める展開に場内も大注目。レース中盤、島村もハイペースの長谷部との差を中々縮められない中、長谷部は1コーナーでハイサイド気味になりミス！。すかさず島村がチャンスを捉え、トップに浮上！だが転倒を免れた長谷部は翌週の1コーナーで再びトップに返り咲くが、島村ももう離れまいと、再び1コーナーで仕掛け、トップに浮上するという非常に見ごたえのあるトップ争いが展開。このトップ争いのバトルによりペースが落ち、3番手の民谷と4番手の魔王も迫りつき4つ巴の状態になる。長谷部と島村の毎周回1コーナーでトップが入れ替わる展開に場内も大いに盛り上がりを見せる中、いよいよファイナルラップに突入！。定石通り島村が1コーナーで長谷部のインをつくものの、織り込み済みの長谷部はレコードライントレースの限界ブレーキングでトップを死守し勝負あり！。もつとすべパバになる長谷部が見事に優勝！島村惜しくも2位。3位は魔王。民谷は無念の4位となった。

優勝 長谷部潤

2位 島村勝

3位 魔王

4位 民谷賢司



●M1クラス

上位3台には大トリM系4クラス最高峰MGPクラスへの挑戦権が与えられる制限タイム43秒5までのM1クラス。全11台での決勝がスタート！。いいスタートを決めたのは2番グリッドの森田がホールシフト！。そして4番グリッドの前田潤が、番手にそれぞれジャンプアップ！。

PPSスタートの大林はクラッチミートは悪くなかつたが1コーナーの混戦に揉まれてしまい、大きくポジションダウンをしてしまつ。1周目から全力で走行する森田は序盤からスパートをかけて先行逃げ切りの作戦のようだ！。後続のライダー達もギアを上げて森田を追走する。しかし2番手の前田潤の様子がおかしい。なんと緊急ピットイン！どうやらブレーキトラブルにより無念のリタイヤとなつてしまつた。代わりに上位に上がったのは、楠畑、前田伸、藤沢と続く。3周目、5番手に付けていた石川県から参戦のジュニアライダーの藤沢が前田伸をかわしポジションアップ！。トップ1、2が逃げる中、3番手争いが4台の集団となり激しいバトルが繰り広げられる！。5周目の1コーナーでいい位置で走行していた畑だったが、藤沢・

大林それぞれにパスされ5番手にダウン。加速が鈍くなったところに前田伸もマシンを滑りこみますが、それは阻止し5番手をキープ。スタートに失敗し後方に沈んでいた大林だったが、周回を重ねることに順位をアツし、気が付けば4番手に浮上している！そして前を走るジュニア藤沢に切迫し、8周目の1コーナーで捕え、3番手に浮上した！藤沢も負けておらず幾度となくベテラン大林に猛ブッシュ！近スホを今年から走り始め、まだまだ荒削りな走行だが、ガツ溢れるファイトは将来が楽しみなライダーだ！ファイナルラップまでもつれたMGPクラスへの挑戦権の権利は、なんと2コーナーで大林がリアを滑らせてしまい転倒！序盤からブッシュをし続け、かなりタイヤに負担の掛かる走行の連続だった為、あと1周もたなかった…！見事1位でチェッカーを受けたのは、終始トップの座を誰にも渡すことなく走り続けた森田が優勝。2位はこちらも単独での走行となった楠。3位 藤沢となった。そしてこの上位3名にMGPクラスへの挑戦権が与えられた！

優勝 森田勇希

2位 楠 貴裕

3位 藤沢日向



●M13クラス

制限タイム46秒5までのM3クラス。今大会はルーキークラスからステッパアップしたライダーなどが多数いたことで、いつもより台数が増え18台でレースがスタートされた！ホールシヨットは予選2位の鈴木が獲得。2番手に小椋少し離れて杉本、イノウエ、PPSスタートの藤田、15番グリットからスタートをしたKma皇本が素晴らしいスタートを決め、なんと6番手まで浮上している！そしてこちらも後方からのスタートとなった丸野だが、1周目を7番手、2周目にはイノウエ、藤田、皇本をパス。3周目の1コーナーで杉本を次々パスし3番手に躍り出た。トップは快調に走行している鈴木、少し離れた2番手は小椋、ブッシュをかけているがその差はなかなか埋まらない厳しい状況だ。4周目の2コーナーで動きがあったのは予選1位の藤田が皇本をパスし、4番手に上がり、前をいく丸野に追いつくべくスイッチを入れる。約1.5秒あつた差はみるみる詰まってきた。9周目の1コーナーで丸野を見事にパスし3番手まで浮上してきた。丸野も負けじと2コーナーをクロスラインで通り、3コーナーで藤田のインをうかがうも入り切るところまでは行けなかった。レースは終始安定してトップを走り続けて鈴木が見事1位とな

る。2位は小椋、3位は丸野、4位皇本、5位河野となった。3番手でチェッカーを受けた藤田だったが、丸野をブッシュしている時に規定タイムを切っていたように名譽の賞典外となった。まだ若い藤田なので次回はM2クラスにバトルフィールドを移して頑張つて貰いたい！

優勝 鈴木巧真

2位 小椋光紀

3位 丸野公義



4位 星本浩基

5位 河野正純

●M2クラス

今回25台のフルグリッドエントリーで、満員御礼のレースとなったM2クラス。スタート直後に1人のライダーがミスし転倒！それに巻き込まれる形で6台の絡む多重クラッシュが発生し、赤旗中断となる。仕切り直しのスタートとなったが、修復が間に合わずにフリーザ選手、グリ選手、そして香川から遠征に来たタイナマイト四国の山内選手が再スタートできずに、残念ながら決勝を戦わずしてレースを終えた。各選手アクシデントとはいえ非常に残念で、悔しい初戦となってしまう。また、ハミンのジュニアライダー堀井颯太選手もピットスタートとなってしまう。仕切り直しとなったM2クラス、ポールのベテラン渡辺が無難にスタートを決め、ホールシヨット2番手に田中、3番手にハミンのゼンダマン、4番手1インチの永田、河野と続く。渡辺が快調にトップをキープするが、2番手争いは田中、ゼンダマン、永田の3つ巴の様相を呈してきた。そこにNSFの飯吉も追いついてきた。しばらく膠着状態が続くが、終盤2コーナーで2番手の田中が周回遅れの選手に引かかてしまい、後退してしまふ。すかさずゼンダマンが2番手に浮上した。そのまま危なげない走り、渡辺が勝利！2位にゼンダマン、3位は田中、4位に永田、5位河野、6位前川が入賞を果たした。

優勝 渡辺広人

2位 ゼンダマン

3位 田中孝寛



4位 永田勝史

5位 河野裕二

6位 前川祐樹



●NSF1000HCクラス

年末にもぎで開催されるブランドチャンピオンシップ大会に出場を目指すライダーが多いこのクラス。今年からレギュレーションの改訂があり、各地で行われているレースに4回出場すればグラチャンへの権利が貰えるように変わった。しかし、近スホRRのシリーズチャンピオンの栄冠に輝くライダーを決める大事なレースになるのには変わりない！さあホールシヨットを決めたのはPPSスタートの佐藤だ！2番手鈴木、3番手帝王榊原、4番手彌榮と続く。3周目のストレートで彌榮が榊原をパス！しかし、そこは帝王榊原！すかさずマシンをインに振り、ブレーキングで抜き返しポジションキープ。ここでバトルをしまつと前を逃がしてしまふのでバトルを避けたい榊原だったが、小学生ライダーはお構いなしにぶつこんでくる。汗また一人、小学生の中嶋も加わって、三つ巴の争いに発展した！体重の軽いジュニアライダーは直線のスピードが有利だが、大人はブレーキングコーナーで勝負をかける。榊原はベテランの意地で前に出させないようにしているが、ジュニア2人で幾度となく入つてきては抜き返すさまを見ていると、オヤジ狩りに合っている様に見えるてきしまつ（笑）しかし、ジュニアライダー達はベテランの戦術、技、上手さなどをレースなどで吸収し更なるレベルアップをして欲しいと思う。レースに話を戻そう。やはり帝王榊原でも、その何度も上手いことはいかず、彌榮、中嶋それぞれにパスされポジションダウンとなつてしまふ。

また。トップは終始、奇オマオと佐藤がキープをしている！今日のマオオのスイッチは入りっぱなしのようだ！その日によってスイッチの場所が変わり、オヤジはいつも周りの人にマオオのスイッチがどこにあるか聞いている(笑)。2番手は非公式レコードホルダー所持者の鈴木だが、佐藤に付いていくので必死なようだ！中盤あたりから毎週コマースで離れてしまひ万事休す。見事1位でチェッカーを受けたのは佐藤、2位鈴木、3位彌樂となった。

優勝 佐藤まお

2位 鈴木悠太



●FN4&FP

4スト125ccノーマルと2スト50cc準改造のスクーターが同一賞典で争われるこのレース。今回は10台でのスタート。勢いよく飛び出したのはポールスタートの金沢赴任中の大西塾の民谷のアドレス、2番手は同じく大西塾の中尾のVJR。3番手に死神博士のジヨブ、以下最近絶好調の下瀬、藤田と続く。民谷が大きく逃げる中、2番手争いの中尾と死神だが中尾が3コーナーあたりでミスをし、死神に離されてしまふ。死神は愛弟子の民谷をハイペースで追い上げ始めた。3番手争いは中尾と下瀬が激しいバトルとなっている。レース中盤には死神が怒ろしいほど追い上げ、テールトゥースに持ち込んだ。最終コーナーで死神が民谷のインを捉え、ついにトップに浮上！するも、次の直線1コーナーで民谷が抜き返す！3位争いは下瀬と中尾のマッチバトル。5位争いは藤田と高橋のマッチバトルと各コーナーで見てきた十分のタイムバトルが繰り広げられる。そしてレースもラスト1周！3コーナーで民谷のインを突き、トップにたつた死神がスタート！がっ！最終コーナー手前でスリッパダウンして転倒してしまつた。すべさま復帰するも4番手に順位をおとしてしまつた。そのまま民谷がトップチェッカー！2位は自己最高位で中尾、中尾との接近戦には敗れたものの下瀬が3位初表彰台となつた。

●OPクラス

今回は5台のエントリー。今シーズンには女子高生ライダーの田村選手、そして野崎もOP車両でMGPからコンバートした。そして去年のチャップのMボボ、クラス成立の要！われ等がリビゲ社長事、ジノベット岩倉、そしてCRATEの畑選手、5台でスタート！ホルシヨットは？ロケットスタートでなんとジノベット岩倉が1コーナーを制した！これは場内大歓声！のちに本人もとても気持ちよかつたコメントしている(笑)。そのミラクルもつかの間で野崎が2コーナーでトップに。ハイペースで逃げはじめ、単独走行に移る。2番手争いは岩倉ミスターボボ、田村の3色の展開に必死に。3位を死守しようとする頑張つたリビゲ社長だが、3コーナーでMボボにかわされ3番手に後退するも必死についていく社長！が、中々抜くところまではいかずにチェッカー！1位野崎、2位Mボボ、3位ジノベット岩倉となった。



優勝 野崎亮介



●MGPクラス

最終レースK&S名物ハイエンドクラスMGPクラス決勝！18台の猛者が決戦に挑む！現金大予想も多くの人が投票し、いよいよ盛り上がりは最高潮に！ウェットでも予選ポールはやはりこの人、キンスボ番長UNOP★そしてセカンドグリッドはなんとスイッチオン入りりっぱなしのマオオ事、佐藤まお、3グリッドはクリスタル、4番グリッドは鈴木悠太と成長著しい4ストジュニアが2スト大人に割つてはいる形で、非常に楽しみなレース。日が西に傾き始めるころ、いよいよ戦いの火蓋は切つて落とされた。素晴らしい加速で1コーナーを押さえたのは？番長U...いや、まおが1コーナーホルシヨット！2番手に番長UNQ、3番手は鈴木、4番手クリスタルそして先ほどMGPで優勝の下が5番手、トリオギヤラフシー、さる先生、野村、後藤田と続く。2周目番長が1コーナーでまおを捉え、トップに浮上するやいなや番長はやくもブチスパートをかけ、マオオを離しにかかると番長が大きく逃げ、マオオ、クリスタル、鈴木、下の順に、その後の集団では、さる先生、トリオギヤラフシー、野村唯人の3色のバトルが展開されている。中盤、まおをクリスタルが2コーナーで捉え、2番手に浮上！しかし番長を追つにはかなり離れ

すぎていたようだ。やはり拮抗したレースでは、予選とスタートが非常に大事となることを思い知らされる。その翌周マオオが再び1コーナーでクリスタルのインを突き、番手に浮上するも、クリスタルも引かずに、サイドバイサイドの激しい攻防が繰り広げられる。

3巴争いになったトリ、さる、唯人の争いはさる先生と唯人が絡んで転倒し、トリの単独となる。クリスタルとまおの2位争いに場内の注目が集まる。番長は既に一人旅...そしてレース残り2周1コーナーでまおがリアを滑らせ転倒！...いい走りをしてたが、ここで勝負あり！番長は余裕の優勝で同クラス6連勝！2位はクリスタル、3位にはジュニアの鈴木がつれしいハイエンドクラス初表彰台を獲得！4位下が入賞した。以下とり、ベテラン田村、大石、そしてM1からの挑戦の森田が見事に8位に入った。

さて、今回レースを沸かせてくれたまお事、佐藤まおが諸事情によりレースを休止すること余儀なくされたこととなった。非凡な才能でムラのある走りながら、非常に期待の大きかった選手だけにキンスボも非常に残念だ。まお！これからもいろんな分野で活躍してな！キンスボはいつまでも応援しているよ！

2位 クリスタルけいちゃん

優勝 UNOP★



3位 鈴木 悠太





J-TRIP杯フォトスナップ

シリーズ飛翔 (若人よ！時代は厳しいがなんとかはだけ！(VOL5))

キンスポで練習やレースに励み、ロードレースに挑戦するライダーを紹介するコーナーです。第5回は佐野優人選手です

●氏名 佐野優人 さの ゆうと(19歳)

●出身 大阪府 設備業

●所属チーム team battle (8耐) バイタルスピリット

●参戦レース JP250と鈴鹿8時間耐久レース

●ご紹介

幼い頃より弟勝人とともにキッズバイクやミニバイクでキンスポへ通い続け、ゼロワンカップからキンスポ杯へと参戦し成長したライダーで、キンスポ杯ではM・E・X(現M・G・P)で上位争いを常に展開した。スーパージュニア第一世代の代表的ライダーで、今では国際ライダーとして、海外、国内問わず大活躍している。今後も益々活躍の場を広げてくれることだろう。 GO FOR IT 優人！

●キンスポについて本人コメント

キンスポは最高の練習場であり成長できるところだと思います！

●本人コメント

JP250と8耐とまったく違うカテゴリーでレースしますが全力で頑張りますのでよろしく願います！



非凡！番長UNOと激しいバトル！



今年も鈴鹿8Hに参戦予定



幼少期
ゼロワンカップにて



キンスポ杯 ライダーファイル VOL10



●プロフィール
氏名 榎原 浩二 (サカキバラ コウジ)
年齢 47歳
趣味 スノボ
職業 プラスチック成型工場のドライバー
好きな食べ物 ハンバーグ
特技 どこでもすぐ寝られる事
本人コメント

M-GPに出始めて2年目ですが、今年中に表彰台に登りたいですね(^_^)41秒台に入れて宇野さんをやっつけて4ストで優勝目指して頑張ります♪

● Aさん、ち〇こさん、さる先生等の愛称をもつ大ベテランの榎原選手
47歳という年齢ながら常にアグレッシブで冷静な走りができ、そして何よりも速い！ まさしく帝王という名にふさわしい最強ライダーだ。 また、ジュニアライダーにも快く指導してくれるやさしいおじさんでもある。 去年のキンスポNSFトロフィーチャンピオンそしてグラチャンでは同タイムの2位という限りなく惜しい結果で、まさしく無冠の帝王となった。

アイスクリーム販売中！
夏到来！！暑い暑い！そこで、
去年よりアイスクリームの販売を始めました。今年ももちろん受付事務所で販売いたします。食べ過ぎ注意ですが、是非キンキンに冷えたキンスポアイス(つてもどこでも売っている商品です
が・・・・・・(´・`・´)
是非、ご賞味くださいませ。
価格200円 ガリガリ君100円



シリーズ飛翔 (若人よ！時代は厳しいがなんとかはだけ！(VOL6))

キンスポで練習やレースに励み、ロードレースに挑戦するライダーを紹介するコーナーです。第6回は佐野勝人選手です。

●氏名 佐野勝人 さのかつと(17歳)

●出身 大阪府箕面市 学生

●所属チーム 犬の乳酸菌

●参戦レース 全日本ロード選手権J・GP3クラス

●ご紹介

兄と同じく幼い頃よりキッズバイクやミニバイクでキンスポへ通い続け、ゼロワンカップからキンスポ杯へと参戦し成長したライダーかつちゃん、勝人、アヤトチエ(笑)とかの愛称でかわいがられた。キンスポ杯ではM・EX(現M・GP)で活躍した。時には兄をしのぐ速さを見せることもあり、兄弟の切磋琢磨で全日本やさらなる大舞台で活躍してくれることだろう。勝人期待してるよ!!

●キンスポについて本人コメント

昔からよく練習さしてもらっている思い出のコースです!

●本人コメント

どんな時も全力で走るので応援お願いします!



幼いころから兄と共にゼロワンカップやキンスポ杯に参戦!



開幕戦 8月7日(日)開催!

小西記念 近畿スポーツランドロードレース シリーズ 2016 第2戦

HRC GROM CUP始動!!

一走入魂!この走りに全てをかける!!

●レディースクラス新設!

●4スト125cc(グロム等)のレギュレーションが変更!

●第2戦特別開催クラスは17インチクラスです!



☆ネット・現金書留・事務所

最終エントリー締め切り7月31日(日)迄!

近畿スポーツランド公式ホームページからエントリーできます!

☆夢中になれるから楽しい!悔しいから上達する!

スプリントレースしませんか?

ホームページ <http://www.kinspo.com/>

Kinki Sports Land Road Race Series 2016
近畿スポーツランドロードレースシリーズ2016

一走入魂

R1 4/17 J-TRIP杯
R2 8/7 小西記念
R3 10/23 KTC杯

名簿が(近畿スポーツランドロードレースシリーズ)に変わりました! 各レースのスケジュール等、詳しくは事務局 or website まで

近畿スポーツランド 2016
近畿スポーツランド 2016
近畿スポーツランド 2016

ネットエントリー可! www.kinspo.comまでアクセス!

TEL0774-88-3633



色々 販売してます！！



- 新品・中古タイヤ ●ワコーズ製品
- 純正パーツ ●ゼッケン ●公式ステッカー
- インスタントラーメン（お湯・箸付き）
- 一休お風呂券 ●売店（阿治力）
- I S A スプロケット

キンスポ杯 ライダーファイル VOL11



●プロフィール
氏名 田村 嘉宏 （タムラ ヨシヒロ）
年齢 44歳
趣味 だらだらする
職業 食品倉庫作業
好きな食べ物 駄菓子

特技 特にないのですが整理整頓は苦手です。

コメント ヒソヒソといわれる位の結果出したいです。

●去年の Moto4 クラスチャンピオン。 初期の頃からキンスポ杯に参戦し続け、昨年見事チャンピオンに輝いた。派手さはないもののコツコツと練習に励み、確実にリザルトを残せるのが強みで、44歳という年齢だが常に進化している。控えめながら尊敬に値する選手だ。

編集後記 やっちゃんの独り言Z VOL7

どもー夏本番ー毎日蒸し暑いですが皆さん体調大丈夫ですか？
先日串本で趣味の釣りで大物を3枚も上げて上機嫌のやすひこです。さて、働くバイクの8耐も終わり、いよいよキンスポロードレースシリーズ第2戦ですね。そろそろ準備に追われるのですが、その前にこの新聞をかきあげないといけません。あー焦る。
さて、今回の独り言はやっちゃんまたまたマナーと安全のお話です。ほとんどの方がマナーやルールをよく理解してくださっているのでも何となく運営しているのですが、やはりいつも一定数中々ご理解いただけない方もおられるわけでして。先日の日曜口こんなことがありました。キッズの練習走行中なのですが、その日はなぜか、いつも少ないキンスポに沢山の74キッズが来場してくださり、普段は救助なども親御さんにお任せしているキッズ走行なのですが、台数も多いのでコントロールタワー下で旗をもって待機してありました。2コーナーで1台転倒者が出て、コース上に倒れているキッズライダーを確認！私はイエローフラッグを大きく振っておりまして、その子は未だ目が見えないのか倒れても逃げようとして、コースに倒れたまま（汗）親御さんが抱きかかえてグラベルに避難させてくださいました。倒れたまま逃げない？逃げられない？のも問題ではあります。イエローを振るすぐ私の横におられた親御さんたちが子供たちにGO！GO！サインを出して最大限に子供たちを煽る指示を出していました。私は正直あきれまして・・・注意する気力も委ねました。あのイエローフラッグ振動の意味は？自分子供達の安全は？怖さを知らない子供達、怖さを知らない親御さん、まさか旗の意味を知らない？これはしばらくキッズのお客様も少なかったたので、あまり気にしていなかった私も同罪ながら・・・大変な状況になりつつあるなと正直思いました。（この感覚でレースを続けていくと、いつか家族の皆さんが大きな後悔や、十字架を背負う事態になりかねないなと・・・キッズ走行の今後のことについても真剣に考えないといけない時期に来ているようです。）
39カップ等の開催でキッズの皆さんが増えてくださるのはとてもうれしいことなのですが・・・モータースポーツ振興という点でキッズレースはとっても重要なことはわかっているのですが・・・このままでは正直、こちが怖い！とりあえず親御さん向けになにか注意書きみたいなものを作成してお渡ししたりしてみようと思えます。それでもご理解いただけない場合はさらに厳しい走行基準を作らなといけなくなるので、キンスポは面倒だから行くのはやめようとかなるかなと思います・・・それはそれで仕方ないことかなと思っております。皆様のご理解（協力）をよろしくお願い申し上げます。さて、小西記念！今回は灼熱地獄の夏！スーパーサーキットも開催予定です。未だ、未定ですが、もしかしたらあつと驚くサブプライズもあるかもです。では天空でお会いしましょうー！ やっちゃん

(^0^)/なれるより習え！ KSLライディングセミナー 受講生募集！！

